

20112

JCI の認定取得による心臓カテーテル検査室の業務内容の変化の検討

¹湘南藤沢徳洲会病院、²湘南鎌倉総合病院

林 浩範¹、和島 真砂美¹、中野 紗都子¹、中塚 倫子¹、高橋 佐枝子²

国際医療機能評価機関（J C I）の認定取得による心臓カテーテル検査室の業務内容の変化の検討 湘南藤沢徳洲会病院 循環器科林浩範 和島真砂美 中野紗都子 中塚倫子 高橋佐枝子（目的）当院は 2016 年 8 月に国際医療機能評価機関（Joint Commission International）を取得した。心臓カテーテル検査室の環境、業務内容も従来の体制から JCI が要求する基準へとの見直しが必要となった。今回、J C I 取得にあたり心臓カテーテル検査室における環境業務内容および医療スタッフの意識の変化を検討した。（方法）JCI 取得にむけて取り組んだ心臓カテーテル検査室の環境、業務内容の改革項目を評価した。また、環境、業務内容の改革に関して心臓カテーテル検査室に勤務する医療スタッフの意識がどう変化したか評価した。（結果）従来の体制から見直したこととして次の 7 つがあげられる。1. 患者確認 2. タイムアウトの導入 3. 薬剤の管理 4. 救急カートの管理 5. 除細動器などの医療機器の管理 6. 清潔区域と不潔区域の管理 7. DTBT（ドアトゥーバルーンタイム）短縮に向けての緊急連絡の明確化。新たな体制の導入にあたり、医療スタッフがそれぞれ業務内容の変化に対応するために時間を要し、業務量は増加し各スタッフの意識の改革に時間を要したが、最終的には安全な医療に対する取り組みを再認識し、検討され新たに導入された業務は通常の業務の一部として施行できるようになった。（結論）J C I 取得を通して、心臓カテーテル検査室の医療従事者の安全な医療への意識改革と医療の質の向上に貢献があったと考えた。